

「キャンプと天候」

～自然の脅威を理解して
安全なキャンプを！～



今年の夏もキャンプを楽しむ予定の人は多いのではないのでしょうか。なかには初めてキャンプに挑戦する人もいます。自然の中で行われるキャンプは、その満足度や安全性に天候が大きく影響します。「史上最速の梅雨明け」と言われる2022年、キャンプに行く前に天候について基本的な理解を深めておきましょう。

トピック 1

▶ 当日の天気を知っておこう！

キャンプ場は避難できる場所がない場合があり、雨や風・雷の影響を受けやすいので注意が必要です。安全なキャンプができるかどうか、まずは天気予報をしっかりと確認しましょう！

特に川でのキャンプは注意が必要です。現場では雨が降っていないのに、約30km上流の大雨により増水し、中州に残された事例もあります。悪天候時には、強風によって大切なキャンプ道具が飛ばされたり、飛来したものによって道具が破損したり、怪我をしたりする恐れもあります。



チェック ポイント

- キャンプ地の天気予報を確認しましょう（川の近くでキャンプを行う場合は、上流の天候も確認）。
- 風にも注意しましょう。怪我や道具の破損の原因になります。
- 天候によってはキャンプの中止も選択肢に入れましょう。

トピック 2

▶ 気温について知っておこう！

気温は緯度による地域差だけでなく、標高によっても変わります。「標高が100m上がると気温は約0.6℃下がる」と言われており、標高800mのキャンプ場では平地と約5度の気温差があります。

「風速1mで体感温度は約1℃下がる」とも言われており、強風の日にはより気温が低く感じるでしょう。また、雨や汗により体が濡れていると、気化の影響で体温が奪われやすい状況になります。

チェック ポイント

- キャンプ地の標高を確認しましょう。
- 夏のキャンプでも念のため防寒具を準備しましょう。
- 体を拭くタオルの準備と、タオルが濡れないような対策をしましょう。



windy

トピック 3

▶ 雷について知っておこう！

キャンプ場には、雷から身を守る建物があるとは限りません。雷はとても大きなエネルギーを持っているので、直撃すれば体に大きなダメージが残ります。また、木に雷が落ちた場合、そこから側撃（直撃雷の周囲で起こる放電）が飛び移ってくることや、枝が落ちてきたり飛んできたりすることもあります。重要なのは対応ではなく対策です。

チェック ポイント

- 雷から身を守る事ができる場所を事前に確認しておきましょう。
- 空の様子や気温の変化を目で見て、体で感じましょう。
- 雷鳴が聞こえたら直ちに避難しましょう。

キャンプに「こうすれば安全」という定石はないかもしれませんが、それでも知っていれば、備えていれば防ぐことができる事故があると思います。自然を楽しむキャンプだからこそ、まずは自然に対する理解を深め、安全に活動するポイントを知り、たくさんのキャンプの魅力を感じてほしいと思います。